

相談支援の仕組みについて①

	川西市	川崎市	豊島区	志免町
1 関連する条例等	川西市子どもの人権オンブズパーソン条例	川崎市人権オンブズパーソン条例	豊島区子どもの権利に関する条例 豊島区子どもの権利擁護委員に関する規則	志免町子どもの権利条例
2 委員・機関	川西市子どもの人権オンブズパーソン(3人以上5人以下、任期2年)	川崎市人権オンブズパーソン(2人、任期3年)	豊島区子どもの権利擁護委員(3人以内＝規則で2名と規定、任期2年)	志免町子どもの権利救済委員(3人、任期3年)、(スキッズ(SK2S)子どもの権利相談室)
3 委員の任命	<p>オンブズパーソンは、人格が高潔で、社会的信望が厚く、子どもの人権問題に関し優れた識見を有する者で、職務の遂行について利害関係を有しないもののうちから、市長が委嘱する。</p> <p>オンブズパーソンは、再任されることができる。ただし、連続して6年を超えて再任されることはできない。</p>	<p>人権オンブズパーソンは、人格が高潔で社会的信望が厚く、人権問題に関し優れた識見を有する者のうちから、第2条第1項に規定する人権オンブズパーソンの管轄を踏まえて、市長が議会の同意を得て委嘱する。</p> <p>人権オンブズパーソンは、任期を3年とし、1期に限り再任されることができる。</p>	<p>擁護委員は、3人以内とし、子どもの権利に理解のある幅広い年齢層にある者(ただし、規則で定める者を除きます。)から、区長が委嘱する。</p>	<p>救済委員は、子どもの権利に理解や豊かな経験がある人のうちから、町長が議会の同意を得て選任する。</p>
4 委員の権限	調査、個別案案件についての市の機関に対する是正の勧告または申入、市の制度に関する見直しの意見表明または改善の申入、是正措置等の報告の要求、市民等に対する是正等の要望	調査、市の機関に対する是正の勧告および是正の報告要求、制度改善のための意見表明、人権侵害是正のための調整、事業者に対する是正措置および従わない場合における市への公表要求	必要な調査・調整、関係する団体または個人に対する是正要請、是正要請後の報告要求	調査、調整、勧告、是正要請、勧告および是正要請後の報告要求
5 事務局	「川西市子どもオンブズパーソン事務局」事務局職員(行政職)が1名在籍	「市民オンブズパーソン事務局」	「子どもの権利擁護委員事務局」東部子ども家庭支援センターが擁護委員の事務局を兼ねる。	
6 独立性	<p>「市の責務」</p> <p>市の機関は、オンブズパーソンの職務の遂行に関し、その独立性を尊重し、積極的に協力、援助しなければならない。</p> <p>「解職の制限」</p> <p>市長は、オンブズパーソンが心身の故障のため職務の遂行ができないと認められる場合又は職務上の義務違反その他オンブズパーソンとして明らかにふさわしくない行為があると認められる場合を除いては、そのオンブズパーソンを解職することができない。</p>	<p>「市の機関の責務」</p> <p>市の機関は、人権オンブズパーソンの職務の遂行に関し、その独立性を尊重しなければならない。</p> <p>「解嘱」</p> <p>市長は、人権オンブズパーソンが心身の故障のため職務の遂行に堪えないと認める場合又は職務上の義務違反その他人権オンブズパーソンたるにふさわしくない非行があると認める場合は、議会の同意を得て解嘱することができる。</p>	<p>「地位の独立性」</p> <p>区は、擁護委員の中立性に配慮し、地位の独立性を尊重して、その活動に協力をしなければならない。</p> <p>「解職」</p> <p>区長は、擁護委員が心身の故障のため職務を行うことができないと認める場合、職務上の義務違反その他擁護委員としてふさわしくない行いがあると認める場合又は規則に定める事由に該当する場合は、その職を解くことができる。</p>	<p>「救済委員に対する支援や協力」</p> <p>町は、救済委員の独立性を尊重し、その活動を支援する。</p> <p>「解任」</p> <p>町長は、救済委員が心身の故障のため職務を行うことができないと認める場合、職務上の義務違反その他救済委員としてふさわしくない行いがあると認める場合は、議会の同意を得て、解任することができる。</p>

※各自治体の条例、条例施行規則、要綱等の条文、ホームページ等より作成